議会報告会報告書

令和7年4月11日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
鈴木 和宏

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和7年1月27日（月曜日）午前9時30分 ～ 午前10時40分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	稲 永 朝 美	栗 畑 寿一朗	荒 井 信 一	鈴 木 敦 子
	宮 原 元 紀			
参加人数	21名（曾我小学校6年生児童19名、担任教諭2名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】 議場を作るのにどのくらいお金がかかるのですか

【回答】 市役所ができた昭和 51 年の時点で約 47 億 2000 万円です

【質疑】 人口が減っていることに対してどう対策していくのですか

【回答】 今住んでいる人たちに住み続けてもらう、新しく小田原に住みたいと思ってもらうための両方の取り組みが大切と思います

【質疑】 休みはどれくらいあるのですか

【回答】 議会が開かれている時以外にも市民の声を聞き、課題を解決するためにどうすればよいか勉強したりしているので、なかなか休みが取れないです

【質疑】 税金はどこに保管しているのかですか

【回答】 市民の方が納めてくれる税金は様々ある。市役所では全体の収入から予算が組み立てられていきます

【質疑】 なぜ議員になったのですか

【回答】 立候補する際に、自分自身の主張を掲げ、市政に反映したいとの思いで議員活動をしています

【質疑】 税金はどんなことに使われるのですか

【回答】 集められた税金は小田原市の財政に反映されます。様々な所管が予算委員会などで提案し、事業が実施されます

【質疑】 一番難しい仕事は何ですか

【回答】 市民相談といい、市民の皆様から様々な要望をいただきます。その内容においては実現することが大変難しい場合があり、それが一番難しいかもしれません

【質疑】 来年度の小田原市の目標や問題は何ですか

【回答】 翌年の目標や予算は 3 月議会で議論されます。人口減少等により集まる税金が減っている中で市民サービスが低下しないよう、いかに予算を活かすかが課題です

【質疑】 1 月のスケジュールはどのようなものですか

【回答】 26 名いればそれぞれ違うと思いますが、私の場合は朝、午前、昼、夕方、夜と、仕事や市民相談、会議などがあるといった感じです

【質疑】 市内にショッピングモールはできるのですか

【回答】 イオンタウンの建設を計画中です

【質疑】 高齢者人口が増えていますが、どのような対策を考えるのですか

【回答】 少子化対策で、子供を産み育てたくなるまちづくり、国づくりが必要です